



戦争をさせない
Anti-War Committee of 1000
1000人委員会

1000人委員会ニュース

No.59

(2018年4月23日)

〒101-0062 東京都千代田区

神田駿河台3-2-11 連合会館

平和フォーラム内

TEL03-3526-2920

FAX03-3526-2921

森友・加計学園疑惑徹底追及！ 権力を私物化する安倍政権をうち倒し、 私たちの平和な未来をつかみとろう！



4月14日、国会正門前に3万人以上の市民が大結集、安倍政権打倒の声を上げた。(記事次ページ)

3月2日の朝日新聞のスクープをきっかけに、森友学園疑惑をめぐる財務省公文書が改ざんされていたことが発覚しました。その後、森友学園問題のみならず、加計学園をめぐる「首相案件」と書かれた文書の存在も明らかになりました。また、「ない」とされていた防衛省のPKO日報が相次いで発見され、この間組織ぐるみで隠ぺいが行われてきたという事実も、白日の下にさらされることになりました。

文書改ざんは森友学園などの個別の疑惑にのみかかわるのではなく、議会政治を根幹からぶち壊す大問題です。私たちは3月13日以降、国会前連続行動に立ち上がりました。国会周辺での行動に加え、街頭宣伝行動を行い、市民と野党の共同によるたたかいをつくってきました。また、連動しての集会・行動が全国各地でもとりくまれてきました。4月14日、国会正門前に3万を超える市民が集まり、車道を埋め尽くしての大抗議行動となりました。

こうした国会内外、全国各地での徹底追及の声が高まるなか、安倍政権支持率は30%台にまで急落しています。しかもその理由が「安倍首相の人柄が信用できる／できない」の大きな変動にあります。いまがんばりぬくことが、今後大きな結果をつくるうえでのポイントとなっていると言えます。

戦争をさせない1000人委員会は、平和と民主主義、そして一人ひとりのいのちの尊厳を守るために、「2020年改憲」を今なお策動する安倍政権退陣に向け、ともに力を尽くされることを呼びかけます。がんばろう！

5.3 憲法集会（東京・有明）に集まろう！

安倍政権は退陣を！あたりまえの政治を市民の手で！

0414国会前大行動に3万人が大結集

4月14日、総がかり行動実行委員会は、未来のための公共・Stand For Truth との共催で国会正門前行動を行いました（市民連合・市民アクション協賛）。首都圏のみならず全国各地から、3万人を超える市民の参加のもと、安倍政権への怒りの声が国会周辺に鳴り響く、熱気あふれるものとなりました。

4月7日に朝日新聞東京本社版、8日には毎日新聞東京本社版と東京新聞に新聞広告が掲載されたほか、twitter上では「#国会前大集合」ハッシュタグ（キーワードで検索しやすくする機能）を活用した呼びかけが行われ、これまでデモに参加したことがない人たちから多くの参加表明がありました。また、これに呼応して全国各地で街頭行動の呼びかけが大きく拡がりました。


意見広告

安倍政権は退陣を！あたりまえの政治を市民の手で！

0414国会前大行動

日本の民主主義を根底から揺るがす公文書改ざん。
前理相・佐川宣寿氏は証人喚問で真相を語りませんでした。
また、事件の鍵である安倍昭恵氏を含む関係者全員の証人喚問は必須です。
4月14日（土）14時から、国会議事堂前で真相究明を求め抗議を行います。

Twitterハッシュタグ
#国会前大集合



主催：既婚させない・9歳養子など総がかり行動実行委員会 / 未来のための公共・Stand For Truth
協賛：安倍政権の腐敗と立憲主義の回復を求める市民連合 / 安倍が改ざんNO！全国市民アクション

※本会が主催する本会主催のイベントは、必ずしも本会が主催するものではありません。
【お問い合わせ】03-5561-0000（受付時間：10時～18時）
【事務局】03-5561-0000（受付時間：10時～18時）
【連絡先】〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 国会議事堂前

こうした状況も踏まえ、総がかり行動実行委員会は、事前に警察当局に対し、過剰警備を止め、国会前車道の開放を求める要請も行いました。

当日は天候が心配されましたが、幸い曇り、多少小雨がぱらつく程度で、むしろ「デモ日和」。前半を総がかり行動実行委員会が、後半は未来のための公共・Stand For Truthがそれぞれ受け持ちました。

国会正門前が参加者で埋め尽くされるなか、行動は14時にスタートしました。



安倍政権退陣を求めるコールを行った後、主催3団体がそろって登壇。代表して総がかり行動実行委員会の福山真劫さんが挨拶。

続いて立憲民主党の長妻昭さん、社会民主党の又市征治さん、共産党の志位和夫さんが挨拶。野党が結束して森友・加計学園疑惑の追及に立ち、安倍政権を退陣に追い込む決意を述べました。



佐藤学さん（学者の会、市民連合）をはじめ、学者、法律家、市民からのアピールが続き、また全体でコール。前半終盤にはすでに歩道上は参加者でぎっしりの状態になっていました。



そして総がかり行動実行委員会の小田川義和さんからの行動提起を終え、後半へと引き継ぐところで、車道に人びとが溢れました。

その後、17時に至るまで、それぞれ参加者からのアピールとコールが絶えることはありませんでした。



まだまだ真相究明にはほど遠く、麻生財務相、そして安倍首相の責任をあいまいにしたまま、政府・与党は幕引きしようとしています。絶対に許すことはできません。

4・5・6月、私たちのがんばりどころです。5月3日の憲法集会をはじめ、さまざまな行動やキャンペーンをもって全国の市民の民意を結びあいながら、必ずや安倍政権を退陣にまで追い詰めましょう！

【寄稿】改憲を阻止し、憲法を具現化しよう

内田 雅敏（戦争をさせない1000人委員会 事務局長）

1. 改憲と憲法番外地の沖縄

「前条の規定は、我が国の平和と独立を守り、国及び国民の安全を保つために必要な措置をとることを妨げず、そのための実力組織として、法律の定めるところにより、内閣の首長たる内閣総理大臣を最高の指揮監督者とする自衛隊を保持する。」

憲法第9条の2として自衛隊を明記しようとする自民党改憲案中の有力案であるという。沖縄辺野古で米軍新基地建設反対の座り込みに参加しながら、この案文を読む時むなしさを覚える。米軍軍人・軍属らによる殺人、強姦事件、空の米軍機からの危険な落下物、海の埋め立てなどによる環境破壊、米軍基地の重圧に呻吟する沖縄県民のことを考えると、日本に守るべき「独立」があるのか、日本は本当に独立国かと自問せざるを得ない。1952年4月28日、サンフランシスコ講和条約によって切り捨てられ、憲法番外地とされた沖縄は、1972年5月15日の「復帰」後も相変わらずの憲法番外地であった。

「我が国の平和と独立を守り、国及び国民の安全を保つために改憲をなどという前に、守るべき「独立」を確立し、保つべき「国民の安全」を実現することこそが喫緊の課題ではないか。

2. 「我が国の平和と独立を守り、国及び国民の安全を保つため」は縛りとして機能しない

「国の平和と独立」、「国及び国民の安全」、誰も反対できない普遍的価値であり、国民国家成立以降、人類はこの普遍的価値を掲げて戦争をして来た。日本も例外ではない。

「……日本の独立と日本を取り巻くアジアの平和を守るためには悲しいことですが、外国との戦いも何度か起こったのです。明治時代には『日清戦争』『日露戦争』、大正時代には『第1次世界大戦』、昭和になつては『満州事変』、『支那事変』そして『大東亜戦争（第2次世界大戦）』が起きました。戦争は本当に悲しい出来事ですが、日本の独立をしっかりと守り、平和な国として、まわりのアジアの国々と共に栄えていくためには、戦わなければならなかったのです」（靖國神社発行パンフレット）。

「国の平和と独立」、「国及び国民の安全」は軍の縛りとはならない。

3. 自衛権の根拠を憲法13条に求める危うさ

個別的自衛権、専守防衛については実定法に規定があるわけではない。政府は、「国家当然の法理」、すなわち個人に正当防衛権があるように国家にも侵略に対抗する自衛権が当然にあるとする論建てをしてきた。正当防衛を前提とする自衛権は、①我が国に対する急迫不正の侵害、②実力行使以外他に適当な手段がない、③その場合でも攻撃をはねのけるための必要最小限度実力行使に限る、という三つの要件を満たした上での個別的自衛権であって、自国に対する攻撃を前提としない集団的自衛権の行使は憲法上許されないとされてきた。歴代政権が堅持してきた専守防衛の安全保障政策だ。

昨今、この個別的自衛権行使の根拠を、憲法第13条の生命、自由、幸福追求の権利に求める見解がみられる。この見解は危うい。

国家が、言論、思想の自由どころか、個人の生命、身体、自由さえも奪ってしまった戦争という惨めな時代を再来させないために、戦争の放棄、戦力の不保持を宣言した憲法9条を設け、国家に個人の尊重、幸福追求の権利を保障させるために13条の幸福追求の権利を憲法典に書き込んだというのが歴史的な経緯だ。

13条の生命、自由及び幸福追求権は、それ自体としては誰も反対できない「使い勝手のよい条文」（元内閣法制局長官）だ。これが乱用されると歯止めがなくなる。集団的自衛権行使容認の閣議決定の際にも、自国に対する直接的な攻撃がなくとも、「国民の生命、自由及び幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険」がある場合には、自衛権（集団的自衛権）の行使が許されるとされた。

冒頭述べたように、沖縄・辺野古における米軍新基地建設の強行、ヤマトの住民の13条を実現するためという口実で沖縄県民の13条が破壊されている。憲法の危機、憲法の正念場、改憲を阻止するだけでなく、憲法番外地をなくし、憲法を具現化しよう。

戦争をさせない
1000人委員会
Anti-War Committee of 1000

基地のない
平和な沖縄を!

沖縄県民の民意尊重と、
基地の押し付け撤回を求める全国統一署名に
ご協力ください

1000人委員会リーフレット「基地のない平和な沖縄を！」
送付のお申し込みは事務局まで！

大きく広げよう！ 「安倍9条改憲NO！ 憲法を生かす全国統一署名」

5月3日の憲法集会での中間発表が予定されています。第2次集約日である4月25日に向け、署名の送付をお願いします。なお、第3次集約は5月末です。

カンパのご協力をお願いします！

今後も「戦争をさせない1000人委員会」はもちろん、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」や「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」の活動をすすめていくうえで、皆さんからのご支援が不可欠です。カンパのご協力をぜひお願いします。

◆◆◆◆ 主な行動日程 ◆◆◆◆

情勢はたいへん流動的であり、日程の変更や、緊急の行動呼びかけをさせていただくことがあります。

森友学園疑惑徹底追及！安倍内閣は総辞職を！4.26国会議員会館前行動

日時：4月26日（木）18時30分～
場所：衆議院第二議員会館前
主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

9条改憲NO！平和といのちと人権を！5.3憲法集会2018

日時：5月3日（木・休）
場所：有明防災公園（東京臨海広域防災公園）
主催：5・3憲法集会実行委員会
共催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会
安倍9条改憲NO！全国市民アクション

安倍9条改憲NO！安倍政権退陣！5.19国会議員会館前行動

日時：5月19日（土）14時～
場所：衆議院第二議員会館前
主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会
安倍9条改憲NO！全国市民アクション

美ら海壊すな 土砂で埋めるな 5.26国会包囲行動

日時：5月26日（土）14時～
場所：国会周辺
主催：基地の県内移設に反対する県民会議
「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会
戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

